

山行報告書

山名	比良山系武奈ヶ岳	山行名	春山トレ・4月例会
ルート	イン谷口～青ガレ～金糞峠～尾根道～武奈ヶ岳～八雲ヶ原～ダケ道～イン谷口		
山行日	4月21日（日）	天候	晴れ
参加者	リーダー：伊藤多恵子                                  サブリーダー：若林憲治 男性：小川、平尾、赤松、中田、山下（剛）、西川（洋）、森本、下坂、土岐、木元、山本*、大形*、堤*                                  *印は一般参加者 女性：秋山、上杉、大林、徳田、河野、伊藤（典）、玉井、倉光、米澤*、アツツ* 合計： 25名		

ルート概略図  省略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	イン谷口 登山口	集		八雲ヶ原	着	13：10
		発	8：00		発	13：20
	青ガレ	着	9：10	北比良峠	着	13：30
		発	9：20		発	13：40
	金糞峠	着	9：50	カモシカ台	着	14：10
		発	10：00		発	14：20
尾根道分岐	着	10：10	イン谷口	着	15：10	
	発	10：15		発	15：30	
武奈ヶ岳	着	11：30		着		
	発	12：15		発		

例会の予定で出したプランでしたが、春山トレーニングを兼ねての山行となり、一般参加者5名を含む大所帯となってしまいました。ただ、最初から春山担当の若林さんが手伝ってくれることになっていましたので安心してお任せすることに。マイクロバスの手配から文書類の作成すべてをやっていただき、私はただの道案内人となりました。

早朝出発のため、渋滞にも会わず、8時前にはイン谷口に到着。お天気も登山道の状態もまずまず良好。3班に分かれて、出発。麓には咲残りの桜やコブシの花、もみじの新緑も瑞々しい。青ガレの岩場、その後の急坂も着実に上り、金糞峠に出ると、琵琶湖がかすんで見える。いったん下って尾根道へのルートを取り、だらだら上りに。ここがちょっと我慢の要るところ。青空に向かって尾根道を上り切ると、コヤマノタケに通じる小道に。

やがて目前に武奈ヶ岳の姿が見えてくる。雪と泥でぐちゃぐちゃの道を避けて、右斜面をショートカット。

お昼前に到着。風もなくポカポカ陽気の頂上で記念写真撮影の後、ゆっくりと昼食。40分後、下山開始。スキー場跡の斜面を下って八雲ヶ原へ。誰一人、足の痛みを訴えることなく、明るいやがて目前に武奈ヶ岳の姿が見えてくる。雪と泥でぐちゃぐちゃの道を避けて、右斜面をショートカット。

お昼前に到着。風もなくポカポカ陽気の頂上で記念写真撮影の後、ゆっくりと昼食。40分後、下山開始。スキー場跡の斜面を下って八雲ヶ原へ。誰一人、足の痛みを訴えることなく、明るい表情で順々と下りてくる。一般の参加者のお元気な歩きっぷりにも感心しきり。八雲ヶ原から、北比良峠を経て、最後はダケ道を90分ほどかけて下る。さすがに、「なかなか着かないなあ…」の声も。

7時間半の行程に疲れた顔一つ見せず、最後までよく頑張ってくださいました。みなさま、お疲れさまでした！（ヒヤリハットなし）

最初は緩やかな林道。水の音が心地よい。続いて青ガレ。大変だが面白い。ルートにこういう変化があると面白い。その先の林の中は地面が柔らかく歩きやすい。山頂付近では、まだ雪が残っているのに驚く。山頂に到着。360度の眺望がいい。下りは、北比良峠経由。琵琶湖の景色がすばらしい。振り返ると武奈ヶ岳が見える。遠くに感じられ、つい先ほどあそこにいたとは思えないくらい。よく歩いたなと思う。その後、長くて緩やかな道を下って、無事下山。四季それぞれに風景を楽しめ、かつ歩きがいのあるいい山だと思いました。CL、SLの方を始め、皆さん、ありがとうございました。

若林 憲治

市民春山登山(石鎚山)の第一回目のトレーニング登山 比良山(武奈ヶ岳)実施  
当初予定では電車移動を立案も25名もの参加を頂き急遽平安バスにて移動する。計画に変更 幸い天気にも恵まれて絶好のトレーニング日和になった。コース的に一般参加者 5名 少しハードなコースで心配も皆さん健脚で無事全員下山でき主催者として安堵致しました。新緑の今の時期 何か生きて成長している光景に沢山のエネルギーを頂いた山行でした。ご参加頂いた方々のご協力を頂き一回目のトレーニング登山が無事終える事が出来て改めて感謝致します。お疲れ様でした。

倉光 展子

さわやかな季節、快晴の空の下、豊かな山域を歩くことができた、ぜいたくな時間をありがとうございました。ただ、願わくば、心魅かれる場面に出会ったとき、もう1,2分欲しいと思いました。一瞥で通り過ぎるにはもったいないと、後ろ髪をひかれる思いがしました。これも団体行動だから、仕方がないことでしょうね。

比良山はリーダー伊藤さんのお気に入りの山だけあって、いつ来ても満たされます。今回も芽吹いてすぐの小さな若葉の木、山桜、こぶし、タムシバ、ミツバツツジ、イワウチワ、ショウジョウバカマ、ミヤマカタバミ・・・たくさんの春の花がそこかしこに生き生きと光を浴びていました。可愛い花々が咲く優しく、活力に満ちた自然。一方、荒々しく根こそぎ倒れている大木、絶え間なく繰り返される崩落の谷、つたに巻かれて、絞め殺されようとしている大木等、厳しい、破壊的な自然がある。この対照的な自然、というかギャップに複雑な気分になりました。

リーダーの伊藤多恵子さん、若林さん始め、同行の皆様、いろいろとありがとうございました。おかげで石鎚山登山に向けていい訓練にもなりました。

市民春山トレーニング武奈ヶ岳登山記念写真

